



あなただと議会を つなぐ情報誌

議会だより

あなただと議会を
つなぐ情報誌

No.201 号 令和4.11.15

主な内容

令和3年度の決算を認定、決算審査特別委員会 (9月定例会議)	2 ~ 8
常任委員会報告	9 ~ 11
3名の議員が一般質問	12 ~ 14
臨時会議・視察	15
議会の主な活動・編集後記	16

秋のローズフェア
(中之条ガーデンズ)

9月定例会議

中之条町各会計の
決算状況



9月定例会議は、7日から21日までの15日間の会期で開かれました。
8日には、3人の議員が一般質問を行いました。
決算認定のほか、補正予算、条例の一部改正、教育委員会委員の任命などの人事案件のほか、指定管理者の指定や財産の無償譲渡など町長提出議案18件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
また、中之条電力等の経営状況に関する書類の報告など4件の報告がありました。
代表監査委員からは各会計の決算について決算審査報告をいただきました。

3年度の決算を承認

会計名		歳入	歳出	差引金額
一般会計		115億3,734万円	106億3,770万円	8億9,964万円
特別会計	国民健康保険	19億2,404万円	18億4,188万円	8,216万円 (1億1,988万円)
	後期高齢者医療	2億4,183万円	2億4,156万円	27万円 (6,009万円)
	介護保険	20億5,440万円	18億7,495万円	1億7,945万円 (2億6,530万円)
	四万へき地診療所事業	6,851万円	5,297万円	1,554万円 (2,024万円)
	介護老人保健施設ゆうあい荘事業	6億1,721万円	6億908万円	813万円 (1億3,845万円)
	簡易水道事業	6,286万円	5,776万円	510万円 (3,570万円)
	下水道事業	5億9,170万円	5億3,205万円	5,965万円 (2億8,610万円)
	農業集落排水事業	3億5,015万円	3億3,829万円	1,186万円 (2億1,995万円)
	発電事業	4億2,327万円	3億7,050万円	5,277万円 (107万円)
事業名		事業収入	事業支出	経常利益
企業会計	自動車教習所	8,994万円	8,988万円	6万円
	上水道	2億3,944万円	1億9,710万円	4,234万円
	簡易水道	1億722万円	1億818万円	△96万円

※単位未満を四捨五入、()内は一般会計からの繰入金額



定例会議2日目(一般質問)の傍聴席

監査委員の意見(抜粋)

代表監査委員 山本 恒夫
監査委員 小栗 芳雄

○一般会計・特別会計

令和3年に予定されていた事業も令和4年へ繰り越された事業を除いては、円滑に執行されており、各会計の決算は正確かつ適正に処理されていると認めました。

急速に進展する人口減少社会への対応、子育て支援や高齢化対策、新型コロナウイルス等への感染予防対策と併せ、老朽化した公有財産の管理も今後自治体の大きな財政負担となります。

町では、こうした行財政課題に備えて、地方債残高の圧縮と後年度以降に交付税措置される有利な地方債の活用に努めるほか、財政調整基金や減債基金等の積み立てに積極的に取り組み、財政の健全化に努めています。

また、チャッポミゴケ公園に代表される地域資源の活用と併せ、ふるさと納税

や中之条ガーデンズへの取り組み、健康づくり事業による医療費の圧縮等にも努め、ビエンナールをはじめとするイベントなどを導入し町のイメージアップと交流人口の増加による地域の活性化に努め、コロナ禍ではあるが、一定の成果を上げています。

地域防災計画の策定に積極的支援を行うなど、地域住民の安心・安全に取り組み姿勢も確認できます。

新型コロナウイルスオミクロン株による感染症拡大、また原材料価格の高騰に伴う物価上昇による個人消費の落ち込みなど、景気回復はなかなか見られない状況にあります。

国の進める構造改革を戦略的に進め、ポストコロナの持続的な成長基盤の構築を目指していくうえで、自治体の行政運営はさらに多様化し、厳しい状況になると予想されるが、豊富な地域資源を活用し、さらに地

域活性化が図られることを期待します。
各特別会計は、それぞれの事業目的の達成に向けて事業を実施しており、実質収支等の実績からも、健全な運営がなされていると判断します。

○企業会計

3事業ともに、近年における人口減少社会や高齢化、生活様式の変化、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けつつも、財務諸表においては透明度の高い内容で、意欲的に健全な経営に取り組み姿勢がうかがえました。

自動車教習所事業会計では、新規免許取得者が減少し、厳しい経営環境にありますが、デマンドバス運行などを取り入れ経営努力を重ねています。

水道事業会計及び簡易水道事業会計は、企業としての経済性を十分に発揮して、安心、安全な生活水の供給を実現しています。管路の老朽化に伴う更新需要の増大等も踏まえ、効率的

○財政健全化判断比率の報告

監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告。

実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、各会計とも赤字がないため該当しません。

実質公債比率は10・5%で前年度を若干上回る結果となりましたが、財政は健全な状況と判断されます。

○公営企業資金不足比率の報告

公営企業会計の資金不足比率の数値を精査し、監査委員の審査を受け、議会に報告。

各企業会計とも資金不足がなく、健全な状況と判断されます。

決算審査 特別委員会

委員長 山本日出男
副委員長 関 常明

★ 主な質疑

①令和3年度中之条町歳入歳出決算認定について

《総務企画分野》

篠原一美委員 滞納者との意見交換は、専用窓口を設けて対応しているのか。
税務課長 収納担当の職員が窓口や電話等により相談に対応しています。

佐藤力也委員 防災士の養成支援について、一般の方の取得を進めていくのか、消防団関係者を中心に進めていくのか。

総務課長 広く町民の皆さんに認識していただきたいので、特に消防団経験者ということとは考えていません。

篠原一美委員 遭難対策や二次災害のためにドローンの導入を提案したが、町単独では難しいとの回答だった。その後の状況は。

町長 町単独では、訓練や維持管理も大変なため、吾妻広域消防で購入しました。

剣持秀喜委員 町の財政について、経常収支比率や財政力指数等を見て、どのように感じているか。また今後行政を継続していくうえでどのように考えているか。

総務課長 経常収支比率は郡内でも高いですが、公債費については平準化していくと思えます。一概に申し上げられませんが、他の数値と比べても、また現在の交付税制度においても不安な数値ではないと思えます。今後、歳入では、使用料等の見直しも必要で、歳出では人件費の抑制等に努め、財政調整基金も活用していく考えです。

安原賢一委員 木材活用センターで地元の木材を有効

活用するということだが、セシウムも問題ではないか。六価クロムは、空気中にも飛散しているのでは。

町長 セシウムについては、灰の処理方法を間違えなければ解決できると思っています。空気中の調査は現在行っています。

山田みどり委員 バイオマスポイラーは不具合や故障によりコストもかかっている。こういった状況で導入について誤ったという印象は。

町長 燃料費の削減や町の資源を活用すること、地球規模のCO2の削減など大きな課題があり導入を選択しました。形状や含水量による停止は、少しずつ解消されており、木材活性化センターができることでクリアできると考えています。

安原賢一委員 商店や飲食店が厳しい状況にあるが、今後どういった検討を行っているのか。

町長 町独自では地域商品券の交付を2回行い、商店に限らず農家でも使われ

たことから、2回で3億円ほどが町内に出回ったことになりました。商店だけではなく、農家や観光業など全体的に検討していかなければならないと思います。

《文教民生分野》

安原賢一委員 出産祝金について、所得面から第1子目が一番大変なので、もう少し金額を上げてほしいと思うが。

町長 当初は出産奨励金で第1子への支給はありませんでした。出産祝金となり5万円の支給となりました。吾妻郡内では充実した制度となっていますが、趣旨からすれば疑問もありますので検討していきます。

剣持秀喜委員 ゆうあい荘について、赤字による一般会計からの繰出金が年々増加しており、運営の見直しが運営協議会でも議論されていると思うが、指定管理者制度に向けた協議の進捗は。

副町長 具体的な検討は特にありませんが、理事との話の中でも指定管理だけではなく、いろいろな方策の話は出ています。毎年あれだけの赤字を出すので将来を考えるとかなり厳しいということとは認識しています。

福田弘明委員 霊園の合葬墓の進捗状況について、完成が遅れているようだが理由は。

保健環境課長 町民の皆さんからの要望は認識していますが、現在開発許可等について、関係機関と調整をしている状況です。

福田弘明委員 町内のコロナウイルスの発患者数や死亡者数は、近隣町村と比較してどうか。

町長 群馬県から吾妻郡の発患者数は公表されていますが、各自治体別の数は発表されていません。

山田みどり委員 ギガスクール構想に伴いタブレット使用の指針もでていますが、教員の負担になっていると感じたことはないか。

ことも未来課長 タブレットの操作や活用については、学校に配置されている県費オンライン学習サポートの活用や教育研究所での調査研究結果の共有などにより、操作が不得手な教員の負担軽減に取り組んでいます。

篠原一美委員 文化財関係で神保家住宅や湯本家住宅の保護と並行して一般公開や活用方法についても検討する必要がありますが、今後どのように進めていくのか。

生涯学習課長 神保家住宅については、活用計画を策定している状態で保存活用検討委員会の中で進めていきます。湯本家住宅についても、ふれあいの里委員会で地域の人の意見を聞きながら審議していきます。

《産業建設分野》

佐藤力也委員 美野原農業公園構想事業の目的にある新エネルギーの活用方法とは。
農林課長 組立てが簡単な

太陽光発電を活用し、発電施設の下でも育てられる作物の収益等を確かめるもので、耕作放棄地対策と農家の所得向上を目指すものです。

山田みどり委員 フードラボ施設を町民に開放することとは良いことだが、高価な業務用器具をそろえたので、当初の目的の商品開発を重点にしてほしいが。

農林課長 商品開発が中心ですが、交流の場などとしても施設を有効に活用するために一般の方にも利用いただけるようにしました。

安原賢一委員 バイオマスボイラーが問題を起こしている中で、木材活性化センター事業のチップについてストップする考えはあるか。

町長 本当に無理なら検討しなければなりません。六価クロムは全国的に検出されているので解決方法は必ずあると思っています。

大場壯次委員 木質チップは重油に比べて安価にでき

るのか。

町長 いま少量で運営しているので経費がかかる部分もありますが、これから木材活用センターができて稼働すれば経費も抑えられていきます。

山田みどり委員 ガーデンズの赤字経営について、高額な委託料をはじめ事業の見直しや改善計画を行う必要があると思うが。

町長 今のままクオリティを下げないで運営するには委託料など質の高い管理が必要です。収支のバランスや雇用形態など今後研究していきたいと思っています。

福田弘明委員 ガーデンズは赤字か黒字かではなく流入人口の増加のために必要な施設である。上信自動車道から取り残された立地条件にならないように運営されてきたと思うが。

町長 上信自動車道を利用するお客様が素通りせず途中で降りていただくことが重要で、中之条植栗インターで降りていただけるように力を入れていきます。

るのか。

剣持秀喜委員 ビエンナーレのパスポート料金について、周遊チケット付きであればもう少し料金を上げて

も良いのではと提案をしたが、次回に向けての予定は。 **観光商工課長** 近隣の事業と比べても安価であり、また町民が無料というのもビエンナーレくらいだと思います。

山田みどり委員 六合地区の「やまどり」運行について、長野原草津口駅まで拡大されたのは良いが、さらに病院まで拡大する考えはあるか。

六合振興課長 有償運送の中で県内の公共交通やタクシー会社等と調整を図りながら長野原草津口駅まで延ばしましたので、今後の様子を見守りながら検討していきます。

令和3年度中之条町事業会計決算認定について
上水道事業の利益剰余金を積立金として処分する公営事業に係る利益剰余金処

分も併せて審議しました。

◎ 利益剰余金処分

会計名	利益剰余金	積立金の内訳	
		減債積立金	建設改良積立金
上水道事業	2億7,330万9,031円	2,000万円	2,000万円

決算審査結果

○令和3年度歳入歳出決算認定について審議した結果、賛成多数となりました。

○令和3年度事業会計決算認定について、公営事業に係る利益剰余金処分について審議した結果、賛成となりました。

決算認定に ついての討論

○反対討論

山田みどり議員

議員一人ずつにタブレットを導入したが、導入から半年経っても、ペーパーレスや感染予防によって制限されていた議会活動を補助する役割までにはなっていない。また運用の方針も明らかにしていない。

中之条ガーデンズがリニューアルオープンし、入場料や売店収入は、前年比から増えているが、明らかに支出が上回っている。その要因は多額な委託料と運営方針であり、交流人口の増加を目的とするなら花だけに特化せず、活用の幅を広げる必要がある。

木材活用センターは、計画当初より燃料や物価の高騰などがあり、予算見込みよりも膨れ上がる懸念があ

り、リスク回避をどのように見込んでいたのか。また今回の木質バイオマスボイラーの燃焼灰から六価クロムが検出されたことも今後の計画に大きな影響が出るのではないか。

ギガスクール構想では、タブレットの使用は一つのツールとしての活用という位置づけだと強調されたが、明らかに子供たちのタブレット使用が増えている、それに伴う費用の負担も増えていくのではないか。また続々と民間企業がタブレット用ソフトを販売しデジタル化と称した教育の市場化が進んでいる。今回取り入れたミライシードも教員のサポートツールとなっているが、生徒を一元管理しデータによって指導や評価基準の算出までも行うことができ、本来の教育理念からかけ離れたものへとになっていく可能性がある。

国民健康保険については、現在の均等割は、未就

学児までが5割減額となっているが、子育て世帯の負担軽減であれば均等割の減額をさらに拡充する必要はあるのではないか。国民健康保険の基金は1億8400万円ほどある。条例での目的使用制限はあるが、今後の県下で一律の保険料になったときの子育て世帯への負担軽減として町民へ還元していくことも期待したい。

町長の町政運営の姿勢について、今問題になっている木質バイオマスボイラーの灰から出た六価クロムは健康を害する発がん性物質であり、報道で知った町民からは怒りと不安の声があがっている。この事態が生じた7月の時点で議会にも町民にも何の説明もなく、9月1日に業者からの説明を受けても、まだ明らかにしないばかりか一般質問の中で問われて初めてその事実を答えている。町長はその後の方針が固まるまで、公にできないとひた隠しに

し、何ら説明をしてこなかったことが重大な問題である。

これまでの伊能町長の8年間を振り返れば元県議の贈収賄の疑惑に関わっていたことや新型コロナウイルス感染症が蔓延したときも町民に対しての説明は後手にまわり、開かれた町政ではなかった。

町民の暮らしや健康を守る立場の町長が自分の都合を優先に対応している姿は町民の目にどのようなうつっているか、子育て支援や老後も安心して生活ができる中之条町として舵取りをしてきたというならば、町民からの信頼を裏切るような姿勢は許されない。改めて町民への信頼回復のための適切な対応と住民福祉向上に全力を挙げて対応することを求める。

◎ 審議結果

議員名等 議案名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壯次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	劔持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
令和3年度中之条町歳入歳出決算認定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

補正予算

◎一般会計（主な事業）

事業名	補正額	主な内容	予算総額
各種団体負担金及び補助金	200万円	伊勢町上之町の山車の修繕等	112億2,120万円
防災対策事業	30万円	避難行動要支援者個別計画作成補助金	
ゆうあい荘事業特別会計繰出金	346万円	施設修繕に伴う一般会計から特別会計への繰出	
予防事業及び新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3,653万円	オミクロン株に対応したワクチン接種及び12歳以上を対象として実施するための費用	
中之条山の上庭園運営管理事業	333万円	ドライフラワー製作に伴う物置の購入	
中之条ガーデンズ運営管理事業	394万円	売店の仕入れ等に係る費用	
木材活用センター運営管理事業	191万円	監理業務委託料の増額に伴う費用	
新型コロナウイルス感染症対策「緊急経済対策」事業	3,960万円	愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の期間延長に伴う宿泊分の地域商品券を交付するための費用	
六合地区観光施設管理事業	283万円	旧入山小学校跡地に建設予定の温泉施設の引湯管敷設計業務委託料	

◎特別会計

会計名	補正額	主な内容	予算総額
国民健康保険特別会計	62万円	システム改修に係る業務委託料	19億7,862万円
介護保険特別会計	283万円	システム改修及び認定調査の拡充のため増額等	19億8,866万円
介護老人保健施設ゆうあい荘事業特別会計	322万円	建物修繕、空調機、水道設備の修繕等	6億2,322万円
簡易水道事業特別会計	382万円	落雷被害に伴う流水計修理等	6,082万円
上水道事業会計	96万円	職員の異動に伴う人件費	3億8,638万円
簡易水道事業会計	64万円	職員の異動に伴う人件費	2億5,286万円

○質疑

福田弘明議員 新しくオミクロン株に対応したワクチン接種が開始されるようだが、今後、町ではどのような対応していく予定か。

保健環境課長 吾妻郡の医師会や町内の医療機関と調整し、準備が整ったところで11月以降の実施を予定しています。

条例の改正

★職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

育児・介護休業法の改正に伴い、取得回数制限や非常勤職員の取得要件を緩和するものです。

★職員の給与の一部の控除に関する条例の一部改正について

条件を満たした会計年度任用職員を地方公務員等共済組合員とすることに伴い、同組合の福祉事業の適用を受けることができるこ

とから、給与からの控除を行えるようにするものです。

★印鑑条例の一部改正について

マイナンバーカードを使用した印鑑登録証明書の交付をコンビニエンスストアに設置された多機能端末機で申請できるようにするものです。

★議会議員及び中之条町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法の改正による公費負担単価を改正するものです。

指定管理者の指定

★観光物産センター指定管理者の指定について

あがつま農協に代わって、新たに株式会社Aコープ東日本を指定管理者として指定しました。期間は、10月1日から令和6年3月

31日です。



六合の道の駅にある観光物産センター

人事案件

★教育委員の任命

教育委員の登坂初夫さんが、9月30日に任期満了となるため、新たに石田優子さん（下沢渡）を任命するものです。任期は、10月1日から4年間で。



石田優子さん

★固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の富沢稔さんが、9月27日に任期満了となるため、新たに高橋博さん（下沢渡）を選任するものです。任期は、9月28日から3年間で。



高橋 博さん

財産の無償譲渡

平成26年次世代自動車充電インフラ整備促進事業で整備したふるさと交流センターつむじ、道の駅霊山たけやまの急速充電設備について、安定的なサービスの継続のため譲渡するものです。

・譲渡先
株式会社イーモビリティパワー

○質疑



ふるさと交流センターつむじの急速充電設備

福田弘明議員 急速充電器

の実績と維持管理費は。保健環境課長 令和3年度の利用回数は、つむじ2136回、たけやま355回、ガーデンズ395回、清流の湯183回、晚釣せせらぎ公園9回です。維持管理費は、年間で約50万から60万円程度です。

大場壯次議員 2か所を譲渡するが他の3か所を譲渡しない理由は。

報告

★一般財団法人中之条電力の経営状況に関する書類の報告

令和3年度事業報告書及び決算報告書、令和4年度事業計画及び収支予算書が提出されました。

★株式会社中之条電力の経営状況に関する書類の報告

第7期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の事業報告書が提出されました。約5214万円の当期純損失を計上し、決算されています。

○質疑

安原賢一議員 中之条電力について、全国的にも新電力事業者の経営が厳しい中で、売上げ3億程度に対し、5200万円を超える赤字となっているが今後も事業を継続していくのか。

町長 電力の地産地消、またお客様に安定的に電気を供給するために会社を立ち上げたので、非常に厳しい状況ではありますが、専門家の意見等も聞きながら、もう少し様子を見させていただき、また経営努力を続けていきたいと思っております。

山本日出男議員 長期借入金

金が2300万円あり、余剰金等もあまりない。負債から見て資金を新たに借り入れていくのか。

企画政策課長 中之条電力

1は、中之条電力の100%子会社で、町は中之条電力に6割の出資をしています。運営の立て直しを含め、資金調達については鋭意検討し、運営をしています。

総務企画

開催日 令和4年9月12日

委員長 安原 賢一

副委員長 大場 壯次

委員 唐沢 清治・小栗 芳雄

委員 劔持 秀喜

避難行動要支援者名簿情報の提供について

小栗芳雄委員 自主防災組織がなくとも行政区から要望があれば対応していくのか。

総務課長 町では自主防災組織を作っていたとお願いをしています。が、何らかの事由により自主防災組織という形態がとれない場合は、要支援者を助けることを優先し、情報提供を考えています。

「消防団の力向上」モデル事業について

劔持秀喜委員 事業の目的や具体的な内容は。

総務課地域安全係長 国の事業で団員の推進やPR活動を行うもので、消防団のイメージアップや募集を図ります。また出初式でのパレード等を計画しています。

木質バイオマスボイラーの六価クロム検出について

劔持秀喜委員 発生から2カ月近く議員や住民に対し説明がなかったが、六価クロムが検出されたというのはいつ把握していたのか。

町長 7月時点でそういった兆候が見られるという話は聞いていました。業者から具体的な数値等の報告が9月1日にありましたが、原因やこれからの対応が特定されない限り、話をしても混乱をまねくこともあり、少し遅れてしまいました。が、常任委員会や本会議と段階的に情報を提供したいと思っております。

劔持秀喜委員 毒性も強く発がん性もあり、また検出後バイオマスボイラーを止めているのだから、その時点で報告すべきだったと思うが、住民への説明はどのようにするのか。

町長 ある程度の方角が出た段階で検討させていただき、住民の方が不安にならないような対策をしてきたいと思えます。現在調査をして

いる状況なので、結果が出たときに例えばホームページ等で公表できたらと思えます。

小栗芳雄委員 バイオマスボイラーの灰には六価クロムが含まれていると以前から問題視されているようですが、導入時にそういったことは調査しなかったのか。

総務課長 導入当時の話では、視察に行ったところでも六価クロムは出ていなかったようです。
小栗芳雄委員 燃焼灰の中に出ているが、大気中に排出されるおそれはないか。

総務課長 煙についても、現在調査を行っております。

大場壯次副委員長 施設の修理はどのくらいの期間が必要か。それまでは今ある設備で対応していけるのか。

総務課長 業者からは、11月10日までは修繕工事を終了する報告を受けています。それまでは、既存の設備で対応可能だと考えています。

町長 皆様に心配をかけていますが、業者とも協議しなるべく早く結論を出すよう取り組んでいきます。

中之条パワーについて

唐沢清治委員 令和3年度は、5000万円程の赤字だが、今年度の状況は。

企画政策課長 月次の損益計算書では赤字が増えており、累積赤字が増える可能性があります。現状は厳しい経営を強いられています。

唐沢清治委員 今の国際情勢等を見ると好転は難しい。早く決断する方がよい。

劔持秀喜委員 全国的にこの事業は撤退が相次いでおり、数字だけ見れば、当町もそういった方向に行かざるを得ない。電気料金の値上げで改善されるのか。

企画政策課長 高圧の契約は値上げさせていただきましたが、市場も乱れており、値上げしても追いつかない現状です。

町長 赤字だから撤退というものも正解かもしれませんが、企業努力をし、今後について専門家の意見も伺い、また、いただいた意見を理事会や役員会にお繋ぎします。

要望

六価クロム検出に伴い、バイオマスボイラーの導入時から現在に至るまでの経過説明を委員会として要望しました。

文教民生

開催日 令和4年9月13日

委員長 富沢 重典

副委員長 関 美香

委員 関 常明・山本日出男

山本 隆雄

教育行政等について

山本日出男委員 長年にわたり教育行政に携わってきたと思うが、教育長の教育理念は。

教育長 教育の主役は子どもであり、大人たちが共通認識を持ち、一丸となって育てていくことが大事だと思えます。また、日本の学校教育は、学力保障と成長保障の二つからなり、教育の本流である知・徳・体の3本柱は、日本の教育の特色で失ってはならないことだと考えています。

山本日出男委員 町だけではなく吾妻郡も大事だと思うが、将来について話しあっていることはあるか。

教育長 吾妻郡内の児童生徒の減少に伴い、各町村では解決できないことをどのように郡全体で取り組んでいったらよいか等を教育長会議で提案しています。また教員の多忙化の原因がどこなのか調査し、解決するシステムが組めないか動き出しているところですよ。

新スポーツへの取組について

山本隆雄委員 オリンピック等の影響もあり、新しいスポーツが次々流行ってきている。早く情報収集し順応することで、町にも活気が出て、また経済効果もあがると思うが。

社会体育係長 スポーツ推進委員を中心にパラリンピックで注目されたポッチャやモルック等の新しいスポーツの普及に向けた取り組みを行っています。スポーツ協会の専門部も含め、全種目で指導者不足であり、若手の育成を検討しています。

学校行事について

関 常明委員 コロナ禍で修学旅行を中心に学校行事が相当制約をされたと思うが、子供たちの様子を含まれ現状は。

教育長 コロナウイルスが3年目となり、非常に行動は制限されていますが、修学旅行に関しては、すべての学校で行うことができました。一

般的な校外学習の経験ですが、子供たちには座学以外の学びということで大変にしていますので、工夫しながらできるだけ限り実施をしています。

心の相談事業について

関美香副委員長 相談時間を増やし相談体制を拡充したことで、どのような効果が得られているか。

指導主事 相談室を利用する生徒の登下校時間は不定期のため、心の相談員の配置を1日にすることでいつでも相談でき、担任と相談員の連絡も可能になりました。相談室が保健室にかわる居場所のひとつとなり、また、男女の相談員がいることで、生徒のニーズに合わせて相談できる効果があると報告を受けています。

やまどり運行について

関 常明委員 運行経路が変わったが詳細は。利用者について統計的なものはあるか。

六合振興課長 利用者の延長希望により、令和2年4月から長野原草津口駅までの乗り入れが可能になりました。全体の70%が医療機関への利用となっており、地域別のデータはありませんが、北部の利用者が多い

と思われる。

ワクチン接種の副作用について

山本日出男委員 4回目のワクチン接種をした人も多いと思うが、副反応の内容や人数の把握は行っているのか。

健康係長 一般的には、接種後1日から2日の間での発熱や局所部位の疼痛等が副反応といわれています。接種後の待機中に具合が悪くなった方については把握をしています。帰宅後、副反応があった方の人数の把握はしていません。

出産祝金について

関美香副委員長 第2子から支給していたときの出産奨励手当金と現在の第1子から支給するようになった。支給額見直しの必要性を感じるか。

町長 各町村で支給方法も異なっています。名称が変わって中身が同じというのも違和感がありますので、検討する必要があると思います。

産業建設

有害鳥獣対策等について

齋藤祐知委員 電牧柵を設置する場合の補助金の限度額は。また設置後に管理状況が悪いものは指導も必要では。

林業係長 個人への補助については、おおむね20万円を限度としています。設置後の管理状況の確認については、前向きに取り組んでいきます。

齋藤祐知委員 野反湖畔の熊対策として、自然景観等を考慮し、看板ではなく叩いて音が鳴るようなものを設置して、注意喚起してはどうか。

六合振興課長 現在は3か所に看板を設置し、観光客に注意を促しています。一般の方が手に取って簡単に使えるようなものを設置できるか検討します。

木材活用センターについて

山田みどり委員 六価クログムが原因でバイオマスボイラーが休止してい

開催日 令和4年9月14日

委員長 福田 弘明

副委員長 佐藤 力也

委員 山田みどり・篠原 一美

齋藤 祐知

る。チップを作る木材活用センターの工事が始まる段階で、事業の根幹にもかかわってくると思うが。

町長 バイオマスボイラーが安全に稼働できるように対応していきます。すべてクリアできるか今の段階では何とも言えませんが、業者等と一生懸命対応しています。

山田みどり委員 安全性が担保されないで再開するのは絶対にやめてほしい。

篠原一美委員 六合地区では、高齢化で木工製品を作る人が減ってきている。森の学校の中で町の林業に関わる歴史や知恵、財産をいまから準備して学習体験の教材として活用できないか。

町長 具体的にそういった部分も含め事業を考えています。地元の方に指導いただく方法など検討したいと思います。

森林管理制度について

篠原一美委員 町に委託した山林が

ら木材を調達し、利益が還元できれば木材活用センターの大きな目的にもつながるので、森林管理制度を強力に推進してほしい。

林業係長 木材の地産地消を目指して木材活用センターの整備をさせていただきます。

ゆずりは荘について

山田みどり委員 現在観光協会が指定管理者になっており、9月から休止している状況だが、町の施設として今後どうしていくのか。

町長 観光協会を中心に議論していますが、閉館せざるを得ない状況です。温泉の問題等もありますので、なるべく早く結論を出していければと思います。

町民花壇について

佐藤力也副委員長 利用期間の制限など利用者の状況は。

花のまちづくり推進係長 高齢でできないという方もいますので、1年ごとに判断していただいています。花壇の補助金もあり、毎年申請をいただき意思確認を行っています。

町有施設のレジについて

佐藤力也副委員長 ガーデンズや道の駅たけやまなどで受託事業者と商品の残数のやり取りを行う際、レジのシステム改修を行うことでコスト削減や人手不足の解消ができると思うが。

花のまちづくり推進係長 ガーデンズのレジは、メール配信できる機能もあるため、一部で運用を始めています。若い生産者も多く、そういったやり取りを望む方も多いので、状況を見ながら考えていきます。

農林課長 道の駅たけやまでは、商品は販売者の管理となっており、レジの更新時等あれば検討させていただきます。

中之条パワーについて

山田みどり委員 経営的に非常に厳しい状況にあるが、国の政策も絡んでくるので、再生可能エネルギー推進に関し、法的な優遇措置など国に対し申し入れる考えはあるか。

町長 電力の地産地消、再生エネルギーの活用で事業を行っていますので、簡単にやめればよいとは思っていません。中之条パワーからも国の方へ話をしていますので、今後も力を入れて交渉していきます。

9月定例会議 議員3名が一般質問

○佐藤力也 議員・・・13ページ

- 1 高校生の医療費無料化について
- 2 財政調整基金の残高について
- 3 伊能町政の総括と今後の町づくりについて
- 4 休日部活動の地域移行について
- 5 学校の働き方改革について

○関 常明 議員・・・13ページ

- 1 中之条ガーデンズについて
- 2 木材活用センターも含む森林行政について
- 3 ふるさと納税について
- 4 防災対策について

○山田みどり 議員・・・14ページ

- 1 新型コロナウイルス感染対策について
- 2 補聴器購入の助成について

・各議員から提出された「一般質問通告書」の内容を掲載しています。
・紙面の都合上、各議員のページには質問の一部を掲載しています。

詳細については、ホームページでも確認できます。

議会で情報発信中!!

会議録や議員ごとの視察研修報告、本会議の録画配信をご覧ください。ぜひご覧ください。

議会ホームページ

URL <https://www.town.nakanojo.gunma.jp/site/nakanojo-gikai/>



◆ 議会の傍聴についてのお願い ◆

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴や観覧を希望される皆様には、マスクの着用をお願いします。また自粛等のお願いをする場合がございますので、ご協力をお願いします。
※傍聴につきましては、入場制限を行っています。役場3階第1委員会室で本会議の様子を観覧できますのでご利用ください。

次回の定例会議は、12月7日（水）から21日（水）の予定です。

高校生の医療費無料化について

町長一郡内足並みを揃え、実施に向け調整中



佐藤 力也 議員

議員 吾妻郡の町村で足並みを揃えて実施に向けて検討するとの事だったが、その後どうなったか。

町長 6月24日に開催された郡町村会定例会で、福祉医療制度の対象年齢を高校生まで延長することについて、郡内の町村長それぞれ足並みを揃えて実施するという結論に達しました。実施に向けて調整しているところです。

財政調整基金残高について

議員 地域商品券の発行を歓迎する一方、使い過ぎを心配する町民もいるが現状は。

町長 基金残高は令和3年度末で84億872万円となつています。郡内他町村と比較すると、地方公共団体の標準的な状態で通常収入され得る経常的一般財源の規模を示す標準財政規模での比率では、他町村の平均が63・6%、中之条町は121・2%となつています。また全国の類似団体との比較でも、人口1人当たりの現在

高で、約6倍近くとなつています。

放課後部活動の地域移行について

議員 国は、令和5年度から、休日の部活動を段階的に地域に移行する方針だが、町の取り組みは。

教育長 総合教育会議や教育委員会会議などにおいて、協議・検討を開始したところです。指導者の確保が大きな課題の一つになるので、地域性等も考慮し、よりよい方法を協議、検討していく必要があると思います。

学校の働き方改革について

議員 給特法見直しの是非と、今後の学校の在り方について、教育長の見解は。

教育長 制度開始から50年以上が経過しており、早急に廃止や見直しが必要と考えます。質の高い教育活動が行えるよう、様々な観点から働き方や給与等の制度を見直していく必要があると思うので、今後の動向を見守りたいと思います。

また現在、小中学校と幼稚園を対象に地域全体で教育への参画を実現するためのコミュニティスクールの設置に向けて取り組みをスタートさせています。

中之条ガーデンズの今後に期待することは

町長一交流人口の増加と経済の循環



関 常明 議員

議員 議会でも多くの時間議論された。完成に向けてイメージしてきたことは。また、今後に期待することは何か。

町長 ガーデンズの建設を構想したときから、目標を交流人口の増加と経済の循環を目指す施設にしたいと常々申し上げてきました。さらに、花と湯の町なかのじょうを実現するため、花の町づくりの拠点施設として、また、周辺農業振興に貢献するための施設とするために、ボランティアの協力と、農業者との連携を図り、町民の力を借りながら運営してきました。基本目標は、大勢のお客さんに来ていただくこと、感動を与えられる園を作ることであり、素晴らしい園が出来上がり、大勢の方々へ感動を与える施設になったと思っています。

ます。その観光拠点として極めて重要な施設なので、このクオリティーを保ちながら継続することにより、町の未来の発展に繋がると確信しています。

木材活用センターの進捗状況は

議員 町民の皆さんをはじめ多くの協力団体に支持をいただいで進めてきたと思うが、現状の進み具合はどうか。また、全般で問題になっていることは何か。

町長 現在の事業経過としては、町、株式会社ユハラ双方の工事関係者による打合せが終わり、8月下旬より本格的に工事が進んでいます。適切な管理・監督を行い、年度内の事業完了を目指したいと思っています。

今後は、年度内での事業完了が間に合うかが、一番の課題と思われれます。また、今後に期待することとしては、バイオマスボイラーの安定的な運用、雇用の増加、町内の木材産業全体の生産額増加につながることを期待しています。

個人事業主への傷病手当等の拡充を

町長一状況を見極め効果的な対応を実施

議員 国民健康保険の傷病手当はあるが給与と支払いを受けている人という限定的な給付である。コロナ感染によって就業できない個人事業主への傷病手当や傷病見舞金の拡充は検討をしているか。

町長 国民健康保険の傷病手当金は、国から示された事業と同じ内容で、全国的に実施されています。県内では、渋川市と邑楽町で、個人事業主を対象に20万円を支給する独自事業を行っているようです。傷病手当金ではないが、加入する健康保険に限定されない支援は、新ぐんまチャレンジ支援金なども実施されています。個人事業者に対する支援という意味では、国民健康保険加入者に限定せず、幅広い方々を対象にした事業のほうがより効果的だと思われまます。さらなる事業が必要か状況を見極めていきます。



山田 みどり 議員

補聴器助成について

いと考えています。

議員

補聴器助成が全国、また県内の自治体で広がっているが、町でも聞こえに不安をかかえている方への支援として検討しているか。また聴覚健診を町の住民健診に取り入れることは難聴者の実態の把握と補聴器の使用を促すことにつながるようになるが、健診の実施は検討されているか。

町長

補聴器購入の助成に単独事業・身体障害者福祉法でも、専門医の判定が必要だと思えます。耳は本人以外には分からない障害なので、どこかで線を引かなければいけないと思えます。実施している町村等の実態も調べ、検討したいと思えますが、現状では、身体障害者福祉法により申請してもらい、指導する医師の下で補聴器を作り、指導を受けることが最善の方法だと思えます。また、住民健診での聴覚健診は、今のところ実施する考えはありません。

第4回臨時会議

令和4年第4回臨時会議が、8月12日に開かれました。財産の取得など町長提出議案2本を審議しました。

財産の取得

消防団の災害対応能力の向上を図り、情報の一元化の必要もあるため、移動系防災行政無線からIP無線への移行を行うもので、ハイブリットトランシーバー37台を購入するものです。

- ・取得金額 781万4400円
- ・取得先 田中電気株式会社

※ハイブリットトランシーバーとは

携帯電話の通話エリアならどこでも通話可能となり、万が一の通信手段の確保ができます。



購入したハイブリットトランシーバー

専決処分の報告

愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の期間が再度延長されたことから、町内の消費喚起を引き続き図るため、2万6000人宿泊分の地域商品券を交付するもので、5720万円を増額し、予算総額は110億725万8000円となりました。

第5回臨時会議

令和4年第5回臨時会議が、10月14日に開かれました。一般会計補正予算など町長提出議案2本を審議しました。

★一般会計補正予算(第7号)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計への影響が大きいため、町民税均等割が非課税である世帯に対し5万円を支給するための補正をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策「緊急経済対策」事業では、町内の中小企業者等に対し、給付金を交付するもので、2億1406万5000円を増額し、予算総額は114億3526万円となりました。

○質疑

山田みどり議員 新型コロナによる緊急経済対策について、法人等への支給条件は。

観光商工課長 基本的にはすべての業種、事業者が対

象となりますが、令和3年度の税務申告を済ませていくことが条件になります。

★損害賠償の額を定めることについて

公用車での走行中の物損事故に伴うもので、相手方と和解が成立したことにより、456万5154円の賠償金を支払うものです。

○質疑

関美香議員 公用車の安全対策や事故防止について、以前にも一般質問をしたが、その後の進捗状況は。

総務課長 始末書等の提出や事故防止の周知徹底により、繰り返し事故を起こす職員はほとんどおりません。

山本日出男議員 賠償額が高額だが、相手方の車種等は。

建設課長 ユニック付大型トラックで、両側面を破損した状況のため、修理費用がかかりました。

大網白里市議会 視察交流

令和4年10月4日に千葉県大網白里市議会議員18名が中之条町を訪れ、中之条町議会議員15名との意見交換等を行いました。コロナ禍のため非常に短い時間でしたが、久しぶりに交流を図ることができました。

大網白里市議会のみなさんは、役場庁舎に設置したエレベーターの事業概要の説明を受けた後、実際に3階議事堂へエレベーターで移動し、車いすを利用されている方でも傍聴可能になった議場を見学しました。

また秋のローズガーデンフェア開催中の中之条ガーデンズの視察も行いました。今後も引き続き、議員交流を通じた取り組みにより、姉妹町として交流がさらに活発に行われると思います。



※大網白里市と中之条町は、昭和54年に当時の大網白里町と姉妹町の締結を行いました。議会、区長会、消防団など多くの団体が長年にわたり交流を深めてきました。

また文化祭やスポーツイベントにも参加し合うなど住民同士の結びつきも強くなっています。

平成18年には、災害時の相互の応援協定の締結も行っています。

議会の主な活動

- (1) 7月28日 四万温泉夏祭り
- (2) 8月4日 老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
- (3) 5日 通学路の安全確保に向けた合同点検
- (4) 10日 県防災ヘリコプター事故殉職者4周年追悼式
- (5) 11日 町長杯グラウンドゴルフ大会
- (6) 12日 中之条町自動車教習所運営委員会
- (7) 12日 第4回中之条町議会臨時会議
- (8) 24日 西吾妻福祉病院例月監査・決算監査
- (9) 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会
- (10) 25日 吾妻環境施設組合議会
- (11) 25日 吾妻郡町村議会議長会
- (12) 25日 吾妻郡スポーツ大会結団式
- (13) 27日 中之条球場リニューアル工事竣工式
- (14) 29日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会
- (15) 31日 議会運営委員会
- (16) 31日 全員協議会
- (17) 31日 民生委員児童委員推薦会
- (18) 9月7日 9月定例会議1日目(初日)
- (19) 8日 9月定例会議2日目(一般質問)
- (20) 12日 予算決算審査特別委員会(1日目)
- (21) 12日 総務企画常任委員会
- (22) 13日 予算決算審査特別委員会(2日目)
- (23) 13日 文教民生常任委員会
- (24) 14日 予算決算審査特別委員会(3日目)
- (25) 14日 産業建設常任委員会
- (26) 15日 吾妻地区福祉パレード
- (27) 21日 9月定例会議3日目(最終日)
- (28) 21日 土地開発公社清算人会
- (29) 26日 老人クラブ連合会輪投げ大会
- (30) 26日 西吾妻福祉会臨時議会・管理運営協議会
- (31) 28日 健康づくり町民ゲートボール大会
- (32) 28日 吾妻東部衛生施設組合議会定例会
- (33) 28日 シラネアオイ植栽事業(野反湖)
- (34) 30日 戦没者追悼式
- (35) 10月4日 大網白里市議会視察受入
- (36) 14日 第5回中之条町議会臨時会議
- (37) 20日 議会広報特別委員会
- (38) 21日 小口資金融資審査会
- (39) 22日 四万ふるさと森づくり
- (40) 23日 消防団秋季点検
- (41) 26日 議会広報特別委員会
- (42) 27日 ブルガリア友好記念植樹祭(中之条ガーデンズ)
- (43) 29日 おいしいお米コンクール最終審査



(33) シラネアオイ植栽地の保全管理作業を行いました



(34) 規模を縮小して開催された戦没者追悼式



(39) 四万地区で行われた JR 東日本主催の森を再生する活動「ふるさと森づくり」で30種類の樹木を植えました

編集後記

「議会だより、もつと速く出せないの？」と、聞かれることが、たまにあります。その方に私は、「ぜひ、議会の情報にきてください。重要な情報を正確にわかりやすくお伝えするために、どうしても編集に時間が掛かってしまうのです」とお伝えしています。

次回、12月定例会議では、新しい町長の所信表明や、今後の町づくりについて、一般質問で盛り上がることを期待しています。

いち早く正確な情報を手に入れたい方は、ぜひ議会まで足を運び、自ら確認されてはいかがでしょうか。

さて、今年も残すところあとわずか、火の用心と感染対策を徹底し、よいお年をお迎えください。

議会広報特別委員会

委員長	篠原 一美
副委員長	佐藤 力也
委員	山田みどり
	関 美香
	大場 壯次
	齋藤 祐知